

## 玉もち病（シャクナゲ類）

葉裏の葉脈部が丘状～半球状に膨大する。患部はやがて白粉状となり、のちに萎縮，黒変する。

【病原菌】 *Exobasidium hemisphaericum*

【罹病樹種】 ハクサンシャクナゲ

【発生地域】 十勝

【防除】

患部が白粉状になる前に罹病葉を摘み取って焼却するか、土中に埋める。



ハクサンシャクナゲ玉もち病